

[一般教養科]

[論文]

佐伯 徳哉

鎌倉時代の伊予国支配と河野氏

佐伯徳哉

風早, No. 93, page:24-39, (2025-03)

木田 綾子

ヴィーラント『ドン・シルヴィオの冒険』における「ヒヤシンス物語」のノヴェレ的要素 [査読あり]

木田 綾子

西日本ドイツ文学, No. 36, page:1-13, (2024-11)

島本 デイビッド 亮

Classroom Ideas for Teaching Circumlocution to False Beginners [査読あり]

Shimamoto, David

PanSIG Journal 2023, page:196-200, (2024-05)

島本 デイビッド 亮

Managing Realignment in L2 Disagreement Sequences

Shimamoto, D

Proceedings of the 7th CAN-Asia Symposium on L2 Interaction, page:-, (2024-05)

[MISC]

木田 綾子

アネッテ・フォン・ドロステ＝ヒュルスホフの手紙 ― 二人の文通相手を例に ―

木田 綾子

新居浜工業高等専門学校教育研究年次報告, vol:1, page:29-32, (2025-01)

木田 綾子

エーファ・ゴイレン教授講演会報告

木田 綾子
西日本ドイツ文学, No. 36, page:75-76, (2024-11)

木田 綾子

書評：菅理恵編著『ドイツ語圏のコスモポリタニズム―「よそもの」たちの系譜』
木田 綾子
Flaschenpost, No. 45, page:7, (2024-05)

沼田 真里

高専生が紡ぐ言葉の世界：俳句教育の効果とその可能性 ― 新居浜高専俳句コンテスト ―
沼田真里
新居浜高専教育研究年次報告, vol:1, page:33-36, (2025-01)

沼田 真里

森盲天外「優填王経」（新出資料）②
沼田真里
新居浜高専教育研究年次報告, vol:1, page:23-28, (2025-01)

[書籍等出版物]

木田 綾子

ドイツ語デジタル教科書
木田 綾子
(2025-02)

[講演・口頭発表等]

沼田 真里

俳句をとりいれた発展的学習の試み―新居浜高専俳句コンテスト
沼田 真里
日本高専学会第30回年会講演会, (2024-09-05)

平田 隆一郎

Application of Phonics and Reading Progress in English classes

平田隆一郎

第7回日台国際カンファレンス, (2024-07-14)

濱井 潤也

Tentative essay on the Linkage between Just War Theory and the Theory of Civil Resistance

HAMAI JUNYA

International Workshop for Philosophy of Peace -Philosophy of Peace in History: Kant in Hiroshima 2024-, (2024-10-19)

島本 ディビッド 亮

Managing Realignment in L2 Disagreement Sequences

Shimamoto, D.

The 7th CAN-Asia Symposium on L2 Interaction, (2024-05)

[共同研究・競争的資金等の研究課題]

沼田 真里

日本近代文学における障害当事者作家としての森盲天外研究

沼田 真里

日本学術振興会, 科学研究費助成事業, (2022-04--2025-03)

濱井 潤也

なぜあなたに配慮義務があるのかー合理的配慮をする側の障害理解教育カリキュラム開発

濱井 潤也

日本学術振興会, 科学研究費助成事業 基盤研究(C), (2021-04--2025-03)

[概要]これまでに実施した「合理的配慮」についての理解を問うアンケート結果及び分析について、全国高等学校教育障害学生支援協議会 AHEAD JAPAN2021 年度全国大会にて「合理的配慮への学生の理解の現状ー合理的配慮をする側の障害理解教育に向けてー」というテーマで教育実践についてのポスター発表を行った。結果として、配慮自体に反対を選択した学生がいずれの年度も3割程度存在することが明らかになった。また、賛成を選択した学生が、配慮を障害学生の権利として「理解」している層、「善意」によるものと考えている層、配慮を、それを必要としない学生に対してメリットをもたらす場合のみ認める「利己」的な層の3グループに区分可能であることを見出した。以上の結果から、まだ学生たちには「合理的配慮」の倫理的正当性への理解が十分には浸透していないと言える。今後はこの倫理的正当性を主題とする障害理解教育カリキュラムを開発・実践し、学生の意識の変化を促したい。

また本科研の基礎理論的研究としての現代政治哲学分野の業績として、広島大学応用倫

理学プロジェクトセンター刊行の『ぶらくしす（2021 年度 通巻第 23 号）』に、単著論文「チャールズ・テイラーにおける世俗化の「長征」から読み解く「生きる意味」の奥行」を掲載した。本稿では、カナダの思想家チャールズ・テイラーの最新の大著『世俗の時代』における信仰のあり方の近代への移行に伴う変遷の過程を踏まえることで、トマス・ネーゲルの「人生の無意味さ」を再解釈することを目指した。

[社会貢献活動]

木田 綾子

四季録

愛媛新聞, (2024-04-05--2025-03-28)

沼田 真里

森盲天外の文学と思想

坂の上の雲ミュージアム, 坂の上の雲ミュージアム講座「松山」, (2024-10-26--2024-10-26)